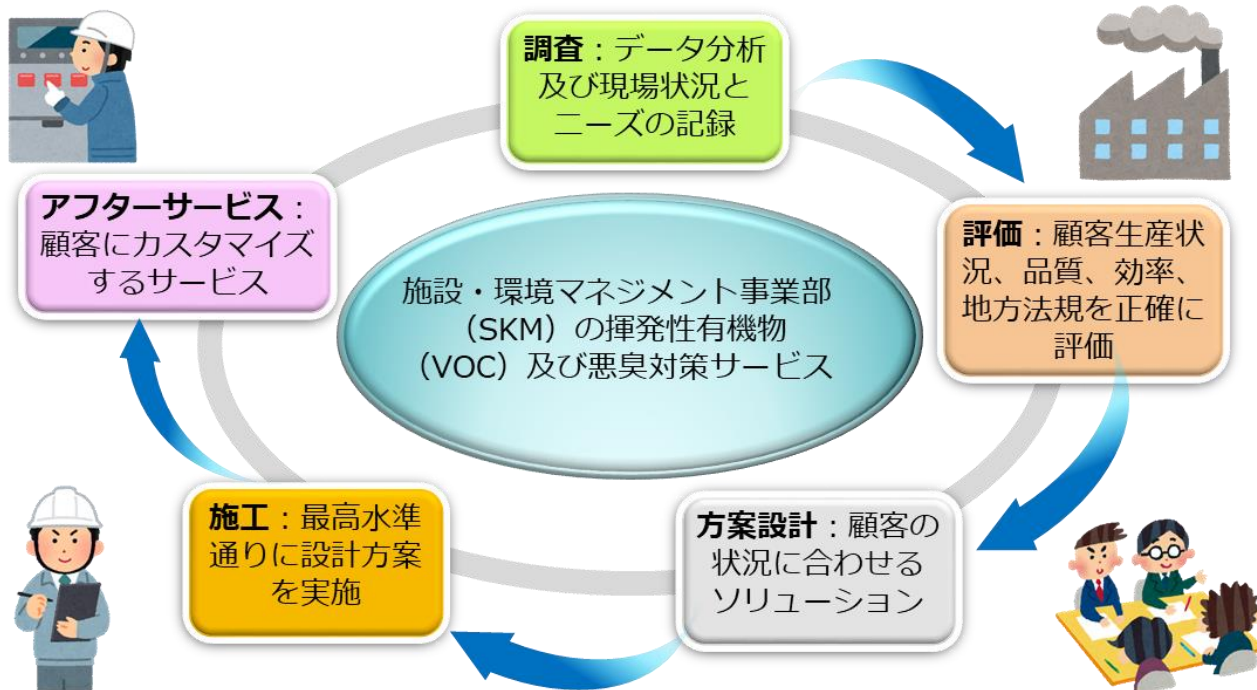


# 有機排ガス及び悪臭ガス対策サービスの提供

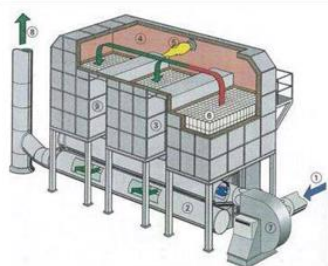
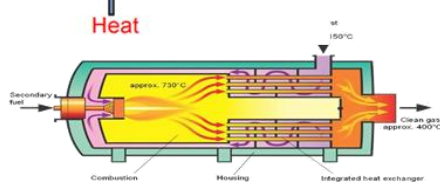
## 施設・環境マネジメント事業部 (SKM) の排ガス対策サービス

従来建設サービスに加え、当社は工場有機排ガス及び悪臭対策のサービスをご提供します。



## 熱酸化装置

Thermal Oxidation 熱酸化



### 熱酸化 (TO)

温度は760℃～1100℃の範囲であり、工業排ガス汚染物質を破壊する技術の一種です。熱交換器により熱回収を行います。

- ・単一または多成分である高濃度VOC・臭気を分解・破壊
- ・VOC濃度2500～4500ppm
- ・処理風量100～150000Nm<sup>3</sup>/h

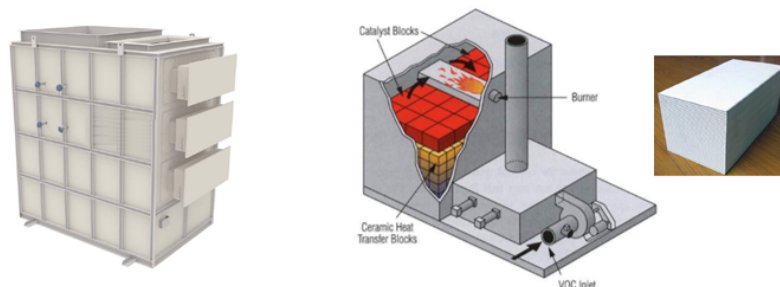
### 蓄熱式熱酸化 (RTO)

温度は760℃～1100℃の範囲であり、工業排ガス汚染物質を破壊する技術の一種です。高温ガスはハニカム構造セラミック製蓄熱材により昇温・蓄熱し、省エネルギーです。

- ・単一または多成分であるVOCを分解
- ・VOC濃度200～2500ppm
- ・処理風量1000～100000Nm<sup>3</sup>/h

# 有機排ガス及び悪臭ガス対策サービスの提供

## 熱酸化装置

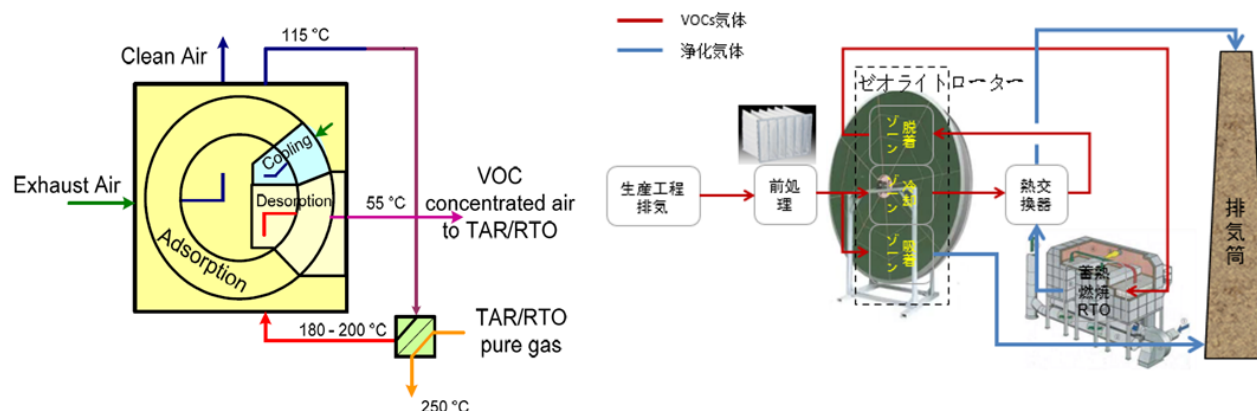


### 触媒酸化 (CTO) と蓄熱式触媒酸化 (RCO)

温度は250℃～600℃の範囲であり、工業排ガス汚染物質を破壊する技術の一種です。CTOは、熱交換器、RCOは、蓄熱材を利用し、熱回収を行います。

- ・単一または多成分VOCを分解
- ・VOC濃度150～2500ppm
- ・CTOが適用する処理風量は1000Nm<sup>3</sup>/h以下または30000Nm<sup>3</sup>/h以上であり、RCOは処理風量1000～30000Nm<sup>3</sup>/hに適用

## 濃縮ローター装置



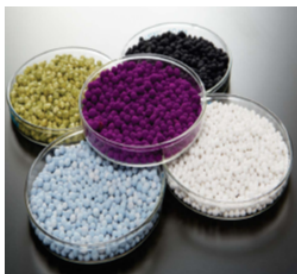
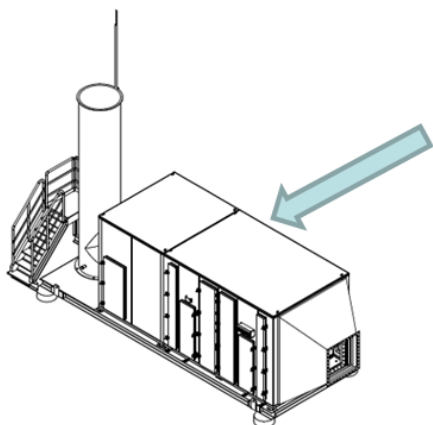
### ローター装置による濃縮

有効的にVOCガスを浄化・濃縮し、酸化装置または回収装置との組み合わせにより、VOCの処理コストを大幅に節約することができます。とりわけ大風量・低濃度ガスに適用します。

- ・VOC濃度500ppm以下
- ・入口温度50℃以下
- ・相対湿度90%以下
- ・VOC沸点40℃以上

# 有機排ガス及び悪臭ガス対策サービスの提供

## 化学濾過及び生物脱臭装置



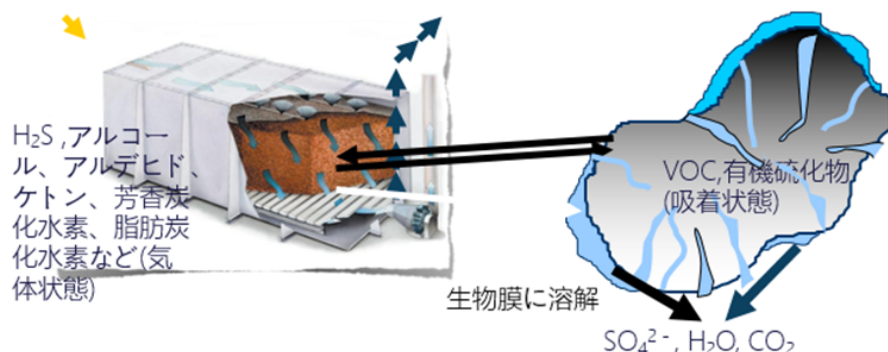
### 化学濾過法によるVOC対策及び脱臭

常温下の工業排ガス汚染物質を処理する技術の一種です。化学濾材に大容量の強酸化剤を含有し、物理的吸着及び化学反応により、無機・有機排ガスを除害します。

- ・ 硫化水素などの無機排ガスの除害
- ・ 有機排ガスの除害
- ・ 低濃度・大風量または高濃度・小風量の排ガス対策に適用し、捕集効率が高い
- ・ 嗅覚閾値の低い排ガス成分排ガスの脱臭に適用

H<sub>2</sub>S, VOC  
(浄化前気体)

浄化後気体



### 生物法によるVOC・臭気対策

常温・常圧の下で微生物による有機物に対する吸着・分解能力を利用し、揮発性有機物及び無機悪臭物質を分解する技術の一種です。

- ・ 中低濃度・大風量の生物分解できるVOCの処理
- ・ 無機物質である硫化水素とアンモニアの処理
- ・ メルカプタン類などの硫化物の処理
- ・ 嗅覚閾値の低い排ガス成分排ガスの脱臭に適用